

津曲研究会 2025 年度 B 日程試験問題

[問1] 消費者の効用関数を  $U = U(X_1, X_2)$  で表す。  $X_1$  は財1の消費量、  $X_2$  は財2の消費量である。所得を  $M$ 、財1の価格を  $P_1$ 、財2の価格を  $P_2$  で表す。以下の問いに答えなさい。  
(各問は独立しており、先の問いの仮定が、後の問いに引き継がれることはない。)

(1-1) [配点10点] 財1はギッフェン財である。ギッフェン財とは何か説明したうえで、財1が下級財となる理由を説明しなさい。

(1-2) [配点10点] 効用関数が  $U = U(X_1, X_2) = \min\{2X_1, X_2\}$  で与えられる。財1と財2の需要関数を導出しなさい。導出過程も明示すること。

[問2] 生産関数  $y = f(x_1, x_2) = x_1^{1/4} x_2^{1/4}$  をもつ生産者を考えよう。  $x_1$  は生産要素1の投入量、  $x_2$  は生産要素2の投入量、  $y$  は財の生産量である。なお、生産要素1の要素価格を  $w_1$ 、生産要素2の要素価格は  $w_2$ 、財の市場価格を  $p$  で表す。

(2-1) [配点10点] 生産要素1と生産要素2ともに調整される長期の費用関数を求めなさい。  
(計算の過程も書くこと。)

(2-2) [配点10点] 生産要素1と生産要素2ともに調整される長期の供給関数を求めなさい。  
(計算の過程も書くこと。)

[問3] 2消費者(消費者Aと消費者B)と2財(財1と財2)の純粋交換経済モデルを想定する。

(3-1) [配点10点] 完全競争市場の均衡配分をエッジワースのボックス・ダイアグラムを用いて説明しなさい。

(3-2) [配点10点] 厚生経済学の第一基本定理とは何か説明しなさい。また、この定理がなぜ成り立つのか、エッジワースのボックス・ダイアグラムを用いて説明しなさい。

[問4] 二つの企業(企業1と企業2)が同じ財を生産・供給する複占市場を想定する。この市場の逆需要関数は  $p = 4 - y_1 - y_2$  で与えられる。  $p$  は価格、  $y_1$  は企業1の生産量、  $y_2$  は企業2の生産量である。なお両企業の費用関数は等しく  $C(y_i) = y_i$  ( $i = 1, 2$ ) である。

(4-1) [配点10点] クールノー均衡での消費者余剰を求めなさい。(導出過程も明示すること。)

(4-2) [配点10点] シュタッケルベルグ均衡とは何か、クールノー均衡との相違を明確にしながら説明しなさい。企業1を先導者とした場合のシュタッケルベルグ均衡における企業1と企業2の生産量の計算しなさい。(導出過程も明示すること。)

[問5] [配点10点] 買い手が製品の品質について情報をもたないとき、「逆選択」(あるいは「逆淘汰」)とよばれる現象が発生する。「逆選択」とはどのような状況であるか、それが生じるメカニズムもあわせて説明しなさい。

[問6] [配点10点] 「コースの定理」とはどのような定理であるか。この定理が成り立つ理由も含めて説明しなさい。